

平成28年度進行管理・評価シート
竹田市歴史的風致維持向上計画（平成26年6月23日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 建物修景補助事業	3
2 旧竹屋書店保存修理事業	4
3 吉川家住宅保存修理事業	5
4 史跡岡城跡保存整備事業	6
5 西光寺境内保存修理事業	7
6 電線類無電柱化事業	8
6 道路美装化事業	9
7 城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業	10
8 歴史資料館等公開活用整備事業	11
9 城下町回遊館整備事業	12
10 竹田荘公園等整備事業	13
11 風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)	14
12 駐車場整備事業	15
13 城下町路地裏整備事業	16
14 城下町老朽危険空き家等除却促進事業	17
15 城下町空き家・空き店舗再生促進事業	18
16 城下町案内ガイド養成事業	19
17 城下町・岡城跡歴史学習事業	20
18 城下町案内マップ等制作事業	21
19 城下町移住定住支援事業	22
20 城下町・岡城跡回遊促進事業	23
21 民俗芸能等支援事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理に関する事項	25
2 文化財の保存又は活用に関する事項	26
3 文化財の周辺環境の保全に関する事項	27
4 文化財の防災に関する事項	28
5 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 竹田市景観条例の施行について	30
2 全国山城サミットについて	31
3 新図書館建設について	32
4 市街地循環バス試験運行について	33
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 計画認定による観光客数の推移について	34
口法定協議会等におけるコメント(様式4)	35

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	現在の状況
計画推進体制	28年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の推進体制については、まちづくり部局の建設課・総合まちづくりセンター、文化財保護部局の文化財課が計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織されている「城下町再生プロジェクト庁内会議」を計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「竹田市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する委員会等に協議を行い、指導・助言を得る。また、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に庁内の機構改革により竹田市総合まちづくりセンターが無くなり、都市デザイン課が新設されたことによる事務局体制の変更を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

事務局体制のスリム化により、意思決定が行いやすくなり、連携が強化された。

状況を示す写真や資料等

事務局体制の変更

【平成25～27年度】

- 教育委員会部局
 - ①文化財課
- 総務企画部局
 - ②企画情報課
 - 総合まちづくりセンター(室)
- 産業建設部局
 - ③建設課都市計画係

【平成28年度～】

- 教育委員会部局
 - ①文化財課
- 産業建設部局
 - ②都市デザイン課
 - ・中心市街地活性化基本計画
 - ・都市再生整備計画事業
 - ・街なみ環境整備事業
 - ・PFI定住促進住宅
 - ・景観計画
 - ・都市計画(MP・決定変更)etc

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	28年度
項目	現在の状況	
景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

竹田市は、大分県南西部に位置し、市の中心部は江戸時代には岡藩7万石の城下町として栄え、古くから奥豊後の政治・文化・経済・交通の拠点であった。山城だった岡城跡の麓には、今なお旧藩時代の城下町の面影を残す武家屋敷や寺社が立ち並び、独特の風情が感じられる。平成の合併以前の旧竹田市においては、昭和54年に「伝統的文化都市環境保存地区整備事業計画」、平成13年に「竹田区域まちなみ環境整備方針」を策定し、城下町としての伝統と歴史的景観を生かしたまちづくりを行ってきた。

平成17年4月1日に、旧竹田市と旧直入郡荻町、久住町、直入町が合併して新しい竹田市が誕生したことで、本市は、城下町の景観以外にも牧草地や温泉街等、魅力的で多様な景観を持つまちとなった。しかしその一方で、幹線道路沿いの看板の乱立、伝統的なまちなみの喪失、山林や農地の荒廃など、景観を阻害する動きも少なくなく、新たなまちづくりの柱の一つとなる景観形成の必要性が高まってきた。このような背景のもと、平成16年に成立した景観に関する総合的な法律である「景観法」に基づき、これまでの旧市町における景観施策を整理し、新市としての景観形成のビジョンを再構築するため、「竹田市景観計画」を現在策定中である。

今後策定する「竹田市景観計画」は、本市における良好な景観形成に関する理念や、景観計画の区域、景観形成の方針、届出を要する建築行為等の基本事項をまとめたもので、個性ある美しいまちづくりを進めるための共通のビジョンとなる計画となる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

竹田市景観計画を平成28年度に策定した、景観計画の施行に伴い、竹田市史跡等環境保存条例を廃止した。竹田市景観審議会を3回開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

竹田市景観審議会の様子



第2回竹田市景観審議会



第3回竹田市景観審議会

平成28年度竹田市景観審議会開催内容

	開催日	主な議題
第1回	H28.7.4	保全建物の指定について
第2回	H28.9.28	景観形成重点地区へのソーラーパネルの設置について
第3回	H29.2.23	景観計画に基づく届出について 木竹の伐採届に係る景観計画の見直しについて 等

平成28年度竹田市景観計画届出

行為の種類	件数
建築物の建築等	10
工作物の新設等	15
開発行為	1
土地の形質変更等	8
木竹の伐採	86
物件の堆積等	0

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	28年度
項目	現在の状況	
建物修景補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・建物修景事業(単独)

計画に記載している内容
 竹田城下町地区における民家や店舗の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で屋根・外構等の建物修景を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行う場合に、経費の一部について補助を行う。
 竹田城下町の町割りは、城下町が形成された400年前の町割りがほぼそのまま引き継がれてきたものであり、往時の生活空間や情感を体感できる箇所が点在している。本事業による建物修景等を行うことで、建物と城下町のさらなる調和が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①建物修景事業
 竹田地区における建物修景事業を実施した。平成28年度8件実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も計画に沿った事業推進を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

建物修景事業

修景前



修景後



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
旧竹屋書店保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	明治32年に建造された旧竹屋書店(登録有形文化財)の店舗兼主屋・土蔵について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理工事を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、地場製品の販売や休憩施設として活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建物の所有者との保存修理に関する意見交換及びスケジュール調整を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		熊本・大分地震による影響等もあることから早急に所有者との調整をつける必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
旧竹屋書店現況			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
吉川家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・補修工事(単独)		
計画に記載している内容	大正11年に建造された吉川家住宅(登録有形文化財)の主屋・土蔵・倉庫について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、観光案内や休憩施設として活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存修理の完了している倉庫一で現在染物屋の工房として活用し、公開活用を実施している。また、熊本地震により被災した倉庫二・倉庫三の修復を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		主屋及び倉庫一については、整備は完了しているが、歴史的風致の維持向上を図るため、倉庫二・三の活用方針を決定し早急な保存修理が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
			
吉川家住宅倉庫一活用状況			
			
吉川家住宅倉庫二・三被災状			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	28年度 現在の状況
史跡岡城跡保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和63年度～平成35年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	文禄3年(1594)の初代藩主中川秀成の入部後、造営が着手された岡城跡は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な公開活用を促進するための環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は、来訪者の利便性の向上のために、二の丸跡に便益施設(トイレ・休憩所)を建設した。また、説明板(説明板2基、城内案内板3基)等の整備を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		平成28年度に発生した熊本・大分地震による石垣等の被災箇所の早急な復旧を行い、来訪者の安全性の確保を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



便益施設(二の丸跡)



案内板設置状況



説明板設置状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	28年度
項目	現在の状況	
西光寺境内保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 大分県文化財保存事業費補助金・竹田市文化財保存事業費補助金

計画に記載している内容 岡藩主中川家とかかわりの深い西光寺は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理工事を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための御成門及び本堂の保存修理工事を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

熊本・大分地震により、西光寺境内の中川家婦女子の墓に岩盤が崩落し、墓石及び石垣を破壊したため、復旧工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

本堂の縁周り、墓所についても腐食や破損が進んでいるため、早急な保存修理工事が必要である。

状況を示す写真や資料等



崩落した岩盤



復旧工事の状況

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	26~27年度
項目		現在の状況	
道路美化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(H26)、社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)(H27)		
計画に記載している内容	竹田城下町の良好な景観形成を推進するため、市道本町八幡川・府内町・代官町・向丁・横町線を対象に、城下町全体の周辺の景観に調和した舗装整備を行うため、測量設計及びカラー舗装工事を実施する。 竹田城下町は、多数の指定文化財等が集積するなど多くの歴史的遺産が残されている。本事業を実施し、城下町一円の道路美化を行うことで、道路景観の改善を図るとともに、こうした歴史的遺産を城下町の情景に合った道路整備を行うことで、城下町のまちなみの連続性の保全が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道路美化事業 竹田地区における道路美化事業を実施した。平成28年度実施箇所 八幡川線(L=60m) 代官町線(L=94m) 溝川●道線(L=49.8m)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		今後とも計画に沿った事業実施を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
<h3>道路美化化</h3> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>美化化前(八幡川線)</p>  </div> <div> <p>美化化後(八幡側線)</p>  </div> </div>			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
電線類無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	市道本町通線及び駅前線では、歩行に支障をきたしている電線類等を無電柱化し、歩行空間と景観形成を行い、歩いて楽しい道路を整備する。また、メインストリートとして、再整備し、城下町の拠点の一つである中心市街地の賑わいを取り戻すため、測量設計・舗装整備・電線類無電柱化工事・歩道整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は、竹田地区無電柱化推進協議会を設立し、無電柱化詳細設計を実施した。(推進協議会4回開催・推進委員会4回開催・庁内PT会議4回開催 先進地研修)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		観光案内板・道路標識・街路灯整備工事との連動が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
			
竹田地区無電柱化推進協議会の様子			
			
無電柱化実施自治体への研修(宇佐市)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	街路灯・案内看板・道路標識等を統一した色合いやデザインにすることにより、城下町の景観形成の向上を図るため、街路灯等基本計画・街路灯等撤去・設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
無電柱化事業と関連するため合わせて実施。街路灯詳細設計を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		電線類無電柱化工事との連動と、竹田地区無電柱化推進協議会との調整が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
			
街路灯整備予定箇所(下本町)			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
歴史資料館等公開活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歴史資料館で保管、保有する貴重な資料の整理を行い、図書館と併せて歴史的文化的遺産の集約的な分類整理を行い、未整理資料の調査研究を効率的に行うとともに、公開活用を図っていく。またその一環として、文化・情報・生涯学習の拠点及び城下町の中核施設として位置づけられている竹田市立歴史資料館(昭和55年建設)及び竹田市立図書館(昭和35年建設)の再整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新図書館の建設を実施した(平成29年5月オープン予定)。また、歴史資料館の再整備に向けた設計業者を選定するプロポーザルを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		再整備を行う歴史資料館については、岡城跡や城下町に関する総合的な情報提供を行うガイダンス機能を備えた文化観光拠点施設としても整備を実施する。平成29年度設計業務、平成30年度から工事施工予定。	
状況を示す写真や資料等			
公開プロポーザルの様子			
建設中の新図書館			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	現在の状況
城下町回遊館整備事業		28年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)・発掘調査(単独)

計画に記載している内容 城下町の中心部に位置した場所に、城下町を訪れる来訪者の為の案内施設及び地域住民の文化拠点施設とし、誰もが気軽に訪れ、交流を深めることができ、中心市街地の賑わいを創出できるような施設整備を行う。整備については、公有財産購入・発掘調査・地積調査・基本及び実施設計・本体工事及び来訪者用駐車場を用地取得・区画線工事・車止めなどを整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は、建設用地の埋蔵文化財発掘調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

平成29年度に設計業務、平成30年度に工事施工予定。

状況を示す写真や資料等



城下町回遊館建設予定地発掘調査状況

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
竹田荘公園等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	地域住民・来訪者にとって憩いの場である竹田荘公園(昭和62年整備)及び稲葉川やすらぎ公園(平成14年整備)は、休憩施設及び遊具等が老朽化しており、再整備が必要となっている。基本構想・実施設計・植栽舗装工事・遊具休憩施設の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は、文化会館周辺整備実施設計及び都市公園基本計画業務委託を実施し、ワークショップを2回開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		ワークショップにより、整備方針をとりまとめたため、各公園の位置づけを整理する必要がある。 竹田荘公園は、歴史資料館再整備との調整が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
竹田荘公園			
			
ワークショップの様子			

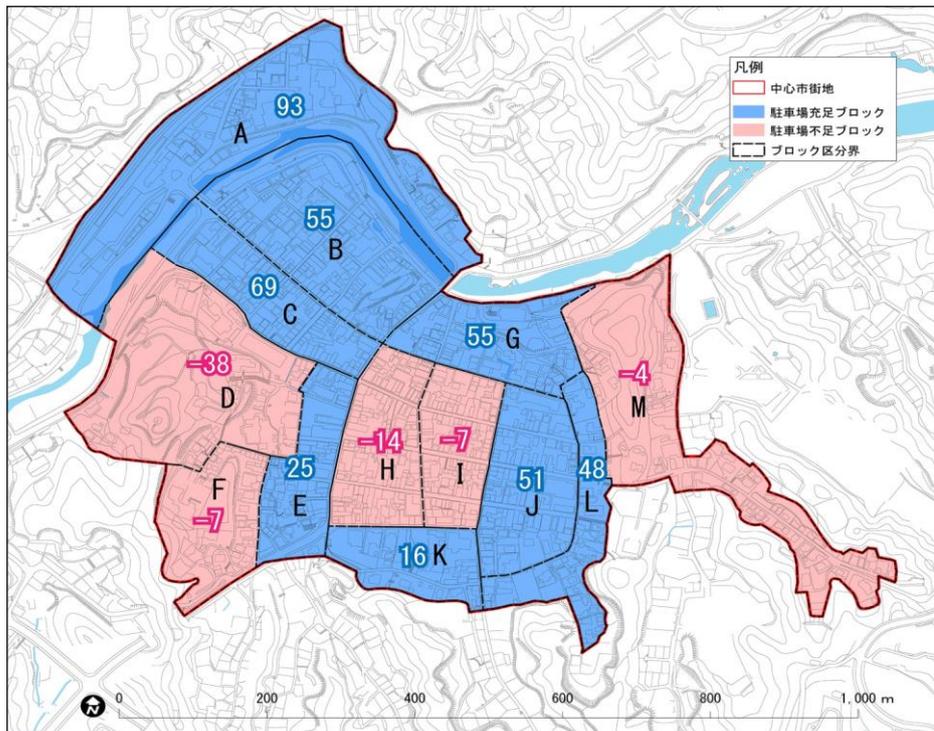
評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	歩いて楽しい城下町を目指し、空き家や空き地を活用し、子どもたちが安心安全に遊べ、地域住民・来訪者が憩えるポケットパークを整備するため、植栽・舗装工・遊具・休憩施設の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業推進は行っているが、対象となる空き地等を検討中。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		ポケットパークの設置場所は、城下町回遊の主要ルート上(空き地があっても、通行の少ない場所では事業効果が少ない)での設置が望ましいことから、設置場所の設定にあたっては、住民及び関係機関と協議を行い決定することに加え、駐車場整備との連動する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
ポケットパークのイメージ			

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	28年度
		現在の状況	
駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	来訪者のために、城下町における駐車場配置計画及び実施設計・駐車場整備工事を行い、城下町の快適性・景観形成に配慮し、地域住民・来訪者満足度の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度より駐車場台数等調査し、駐車場の配置等を検討している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		駐車場設置について、限られた空き地を効率よく使用するために、ポケットパーク設置等の他の事業推進と連携し計画する必要がある。また、図書館・歴史資料館等の再整備事業との連動も必要である。	

状況を示す写真や資料等

参考資料



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
城下町路地裏整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	民地等を活用し、敷地の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で道路美装化等を行う場合に、経費の一部について補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
対象となる裏路地の所有者に対し事業実施の協議を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		回遊性を重視した整備の実施及び個人所有の敷地等を利用するため、十分な住民との意見調整を実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
裏路地整備の例			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	28年度 現在の状況
城下町老朽危険空き家等除却促進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 城下町の良好な景観形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適切に管理されていない老朽危険建物の除却に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は4件の老朽危険家屋除去を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後も、必要に応じ実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

撤去前



撤去後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	27～28年度
		現在の状況	
城下町空き家・空き店舗再生促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	単独事業		
計画に記載している内容	空き家や空き店舗の有効活用をとおして、地域の活性化及び良好な景観形成の促進を図ることを目的に、再生に必要な改修等に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
城下町の空き家を活用し、移住者がギャラリーを開設。 創業に際し、市の「歴史・文化資源活用型起業支援事業補助金」の助成を受ける。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		持続的な運営とまちの賑わい創出に向けた連携を図る必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



空き家をリノベーションし、移住者がギャラリーを開設
 (「竹田市歴史・文化資源活用型起業支援事業補助金」活用)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
城下町案内ガイド養成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～35年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	観光ボランティアガイド・岡城こどもガイド・岡城楽しみ隊などの案内ガイドで城下町や岡城跡を案内する団体に対し、統一した内容で案内を実施できるようにガイド研修や案内テキスト等を作成するなど、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
岡城たのしみ隊及び岡城武者揃等の団体の活動に対し支援を行った。岡城こどもガイドの育成(ガイド実習年6回・ガイド研修年2回)を実施した。(28年度2名)・ボランティアガイドの育成(2回10名)を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		岡城こどもガイド希望者の減少が懸念されることから、募集内容の見直しが必要(学校現場との連携)	
状況を示す写真や資料等			
			
ボランティアガイド研修の様子			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
城下町・岡城跡歴史学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～35年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	竹田市内の文化財を中心とする文化財の視察、調査研究、学習による文化財理解を通して文化財愛護の啓発を行う文化財市民講座、歴史資料館や市立図書館に収蔵される古文書の読み下しを行う古文書解読講座、古文書を整理分類し基礎知識を学ぶ古文書実践講座などの充実を図る。また、各種講演会(由学館セミナー等)を実施し市民を対象としたに郷土学習の機会を設ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催した講演会・講座事業 全国山城サミットin竹田(参加者集約600名) 由学館セミナー(3回 参加者数約100名) 古文書講座(12回 受講者数約20名/回)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在実施している由学館セミナーの継続的な開催及び全国山城サミット開催により市内各地域に残される山城への関心が市民広がったことから、山城を活かした地域づくりにつなげていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
全国山城サミットin竹田の様子			
			
由学館セミナーの様子			

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	28年度
		現在の状況	
城下町案内マップ等制作事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～35年度

支援事業名 国宝重要文化財等保全整備費補助金

計画に記載している内容 城下町を訪れる来訪者に対し、回遊ルートや文化財などの情報をわかりやすく解説したパンフレットを作成し配布する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

岡城跡を訪れる来訪者へ、便益施設を整備した城の主体部である本丸・二の丸・三の丸の案内及び情報提供を行うパンフレットを作製した。

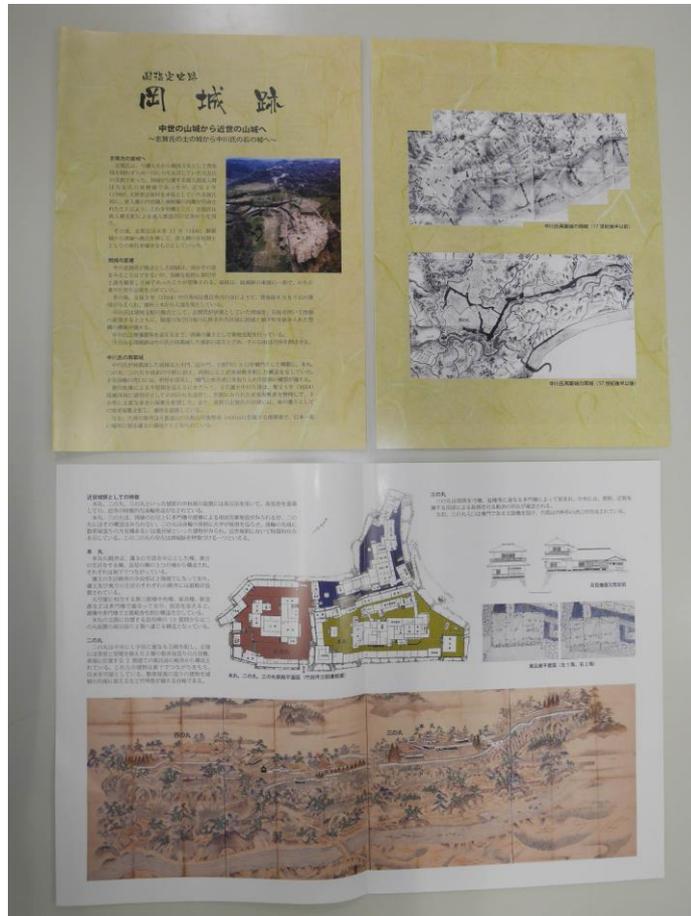
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

来訪者からの意見収集等を実施し、必要なパンフレット及び案内マップ等の作成を実施する。

状況を示す写真や資料等



岡城跡の魅力を伝えるパンフレット

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
城下町移住定住支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～30年度		
支援事業名	単独事業		
計画に記載している内容	城下町で様々な文化活動の担い手を一定期間招聘し、移住を視野に入れた創作活動の場を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国内外から優れた作家を招聘し、滞在中の創作活動と地元住民との交流を通じ、芸術・文化振興を図る“アーティスト・イン・レジデンス”は、竹田市でも古くから取り組まれ、一つの文化として根付いてきた。現在でも市民を中心に取り組まれ、地域の芸術・文化活動や移住・交流促進にも大きく寄与していると考えられることから、市の主要な政策として位置づけ、『竹田市アート・レジデンスプロジェクト』が発足(2014年5月)。竹田市レジデンスバンク制度及びTSG「竹田総合学院」を活用し、作家の滞在～創作～発表までを支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		アートレジデンスを通じて、若手の作家・芸術家が活動拠点として竹田市への定着を図る必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
<p>京都を拠点に世界中で音楽活動を展開する音楽ユニット「mama!milk」を招聘し、およそ10日間にわたる滞在制作を実施。最終日には一般市民も参加可能な公開収録を実施。</p>			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	28年度 現在の状況
城下町・岡城跡回遊促進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～35年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	城下町と岡城跡を回遊する周遊自動車等やレンタル自転車等の交通手段を構築することにより、高齢者や身障者の来訪者に対し優しい回遊ルートを構築する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
急峻な地形に築城された岡城跡は、その立地から体の不自由な人や高齢者にとっては登城が難しい状況にあったことから、「岡城登城バス」の運行を行ったが、熊本・大分地震後、安全性確保のため運休(期間限定での運行)している。また、城下町(市街地)と各観光施設への回遊性向上のため、平成29年3月に、市街地循環バス「まちめぐり号」の試験運行を行った。 平成28年度登城バス利用実績 延べ 2,600名(H29.2末) 平成28年度レンタル自転車利用実績 590台(H29.2末)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		登城バス利用者から利用に関するアンケート調査を実施しているが、現在のところ運行に関する問題点や苦情等は出ていない。今後もアンケート調査を継続して実施し、利用者の意見収集を図る必要がある。また、城下町から岡城跡へのルート構築を早急に行う必要がある。	

状況を示す写真や資料等



市街地循環バス「まちめぐり号」

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	28年度 現在の状況
民俗芸能等支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成15年度～30年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	竹田市内で伝承活動を行う民俗芸能保持団体に対し、用具の整備や担い手の育成に対する支援及び調査や記録保持(記録映像撮影等)を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
次代の担い手の育成の為、子供神楽等の団体への助成を実施した。(平成28年度 3団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		平成25年度までに市内51団体ある民俗芸能保存団体のうち41団体の記録映像撮影が文化庁の補助事業等を活用し完了しているが、残りの団体の記録映像撮影を早急に行うことに加え、伝承活動に必要な用具等の整備を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



子ども神楽の活動の様子(玉来子ども神楽愛護少年団)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	28年度
		現在の状況	
文化財の修理に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の修理や整備について、有識者に指導・助言を仰いで実施している。また、文化財の修理や整備にあたっては、文献等の史料に基づいて歴史の真正性を担保とした修理・整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

吉川家住宅(災害復旧)を実施した。(P5に記載)
 西光寺境内保存修理工事(婦女子の墓災害復旧)を実施した(P7に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

岡城跡の地震被災箇所への復旧工事を早急に実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等



西光寺境内災害復旧工事の様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	28年度
文化財の保存又は活用に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 資料の保管・公開を行う施設の老朽化が進んでいるため、施設の整備を行う。また、登録有形文化財等の歴史的建造物の公開活用を図る。また、岡城跡や旧竹田荘等の本市の観光の中心となる文化財施設を回遊するルートの歩道や駐車場の整備、案内板・説明版による情報発信の実施及び、これらの整備に加えて観光案内や休息施設を備えた施設を設置、城下町から岡城跡へのアクセス方法の整備を行い観光客が訪れやすい環境づくりを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建物修景補助事業(P3に記載) 吉川家住宅保存修理事業(P5に記載) 史跡岡城跡保存整備事業(P6に記載)
 歴史資料館等公開活用事業(P11記載) 城下町・岡城跡回遊促進事業(P23記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	再整備を行う歴史資料館に、岡城跡のガイド機能を持たせることから、城下町から岡城跡へのアクセス整備が必要。

状況を示す写真や資料等



岡城跡二の丸休憩所



岡城登城バス運行状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	28年度
		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 竹田市史跡等環境保存条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。また、道路の美装化、排水路の整備、街路灯や案内板等のデザインについて、文化財及び周辺環境と調和に配慮し実施する。また、過疎高齢化により城下町内の空き家・空き店舗等が発生している。老朽建物の除却及び空き家・空き店舗の有効活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路美装化事業(P9に記載) 城下町老朽危険空き家等除去事業(P17に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	電線類無電柱化に合わせて、案内板・標識・街路灯についても整備を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

美装化の例
代官町線



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	28年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	消防本部や警察署と連携し、文化財の盗難に対する見回りや防災点検、住民への啓発活動を実施し、文化財の防犯・防災に対する意識の向上を図るよう努める。また、文化財の所有者や管理者等に対し防犯設備や消防設備を可能な限り設置するよう指導を実施する。さらには竹田市地域防災計画に記載された、有事の際の文化財保護に関する連絡体制の確認を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地元自治会・消防本部・消防団と共同で、文化財防火デーに合わせ火災防護訓練を予定であったが、悪天候のため中止となった。 平成28年度:平成29年1月22日 旧竹田荘 悪天候のため中止			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防犯・防災意識の向上を図るための連携及び訓練等の開催を継続的に行う必要がある。		

状況を示す写真や資料等



西光寺での防火訓練の様子(H27年1月実施)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	28年度
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 、市民ボランティアガイドによる案内や竹田市立歴史資料館での常設展示・企画展示・各種講座をつうじて地域の歴史・文化の啓発活動を実施している。また、歴史文化に関する講演会や先人顕彰活動の拠点施設整備を行うとともに、住民や観光客が手軽に情報を得ることができる案内パンフレットの作成や観光案内施設を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町ガイド養成事業(P19に記載) 城下町・岡城跡歴史学習事業(P20に記載)
 城下町案内マップ等制作事業(P21に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



岡城子どもガイド研修の様子

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
竹田市景観条例きょう施行 城下町を「重点区域」に	2016.7.1	大分合同新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観法に基づく竹田市景観条例の施行。竹田市景観計画も策定し、計画で定めた「景観形成基準」に沿って良好な景観を守っていく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史まちづくりの取り組みについて、報道関係への周知を実施する。

状況を示す写真や資料等



景観計画の重点地区指定された城下町(7月30日) 竹田市

建造物の届け出義務化

竹田市

景観条例きょう施行

城下町を「重点地区」に

竹田市は市内の景観保全を目的に、景観法に基づく「市景観計画」を策定した。計画実施の根拠となる「市景観条例」が1日に施行、一定規模以上の建造物を新築・改築する際に事前の届け出が必要になる。計画で定めた「景観形成基準」に沿って建造物の高さや形状を規制し、良好な景観を守っていく。

計画範囲は市内全域。届け出が必要なのは住宅や店舗の建設や広げ、太陽光発電施設などの設置。土地開発や森林伐採などの行為も含まれる。いずれも基準の高さ、面積を超えるものが対象。

このうち、江戸時代の町割りが残る市中心部の城下町地区は「重点地区」に指定し、規制を強化した。新築・改築する建造物について、市の景観形成基準に照らして届け出内容を審査し、建設の可否を判断する。不可の場合は有識者(専門家)の意見を求める。

市は景観形成基準に照らして届け出内容を審査し、建設の可否を判断する。不可の場合は有識者(専門家)の意見を求める。

景観計画は市のホームページに掲載している。問い合わせは同課(☎0974-63-4848)へ。

(岡本英明)

大分合同新聞(2016.7.1)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
竹田で全国サミット始まる 岡城跡に山城ファン150人	2016.10.23	大分合同新聞
岡城跡の活用法探る 竹田で山城サミット	2016.10.24	大分合同新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

10月22日～23日に開催した、全国山城サミットにおいて、岡城跡と城下町の魅力を発信した。今後の岡城跡を中心とした山城の活用方法等の講演及び市民団体等による城を活かしたまちづくりの報告等が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

一過性のイベントとして終わらず、今後の岡城跡の活用及び魅力の発信に繋げることが必要である。

状況を示す写真や資料等

大分合同新聞(2016.10.23)

大分合同新聞(2016.10.24)

評価軸①-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
竹田市立図書館来月から休館 5月に移転オープン	2017.1.14	大分合同新聞
新図書館5月に開館 新築移転し収容冊数ほぼ倍増	2017.3.26	大分合同新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化・情報・生涯学習の拠点及び城下町の中核施設として位置づけられる竹田市立図書館再整備を実施。2017年5月に新築オープンする。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

単なる図書館としての機能だけでなく、城下町の中核施設として、総合的な情報提供を行うガイダンス機能の充実が求められる。

状況を示す写真や資料等

竹田市立図書館 来月から休館 5月に移転オープン 収容冊数15万冊に

竹田市立図書館は、100年を築いてきたが、老朽化が進み、利用者の安全と利便性を確保するため、5月に新築移転オープンする。収容冊数は約15万冊に増える。旧館は来月から休館となる。

新築移転した新図書館の外観

竹田市立図書館の新築移転工事がこのほど終了。内覧会が25日、市内竹田の現地で始まった。26日まで。開館は5月21日。

旧館(左)と新館(右)の比較

新館は、旧館の約2倍の収容冊数を誇る。また、読書スペースや子どもコーナー、地域交流スペースなど、多様な機能を提供する。

5月に移転オープン 収容冊数15万冊に

竹田市立図書館は、100年を築いてきたが、老朽化が進み、利用者の安全と利便性を確保するため、5月に新築移転オープンする。収容冊数は約15万冊に増える。旧館は来月から休館となる。

新築移転した新図書館の外観

竹田市立図書館の新築移転工事がこのほど終了。内覧会が25日、市内竹田の現地で始まった。26日まで。開館は5月21日。

旧館(左)と新館(右)の比較

新館は、旧館の約2倍の収容冊数を誇る。また、読書スペースや子どもコーナー、地域交流スペースなど、多様な機能を提供する。

大分合同新聞(2017.1.14)

竹田市 新築移転し収容冊数ほぼ倍増 新図書館5月に開館

竹田市立図書館の新築移転工事がこのほど終了。内覧会が25日、市内竹田の現地で始まった。26日まで。開館は5月21日。

旧館(左)と新館(右)の比較

新館は、旧館の約2倍の収容冊数を誇る。また、読書スペースや子どもコーナー、地域交流スペースなど、多様な機能を提供する。

本棚を流線形に配置

新館は、旧館の約2倍の収容冊数を誇る。また、読書スペースや子どもコーナー、地域交流スペースなど、多様な機能を提供する。

来月、記念イベント

完成を記念し、4月1日午後1時半から新図書館で「読書会」を開催する。また、5月1日に「新館オープン記念イベント」を開催する。

開い合わせは市立図書館(0974-631048)

大分合同新聞(2017.3.26)

大分合同新聞(2017.3.26)

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
竹田市の循環バス来月試行運行 観光客や市民向け	2017.2.8	朝日新聞
竹田循環バス来月試験運行 岡城跡コースも新設	2017.2.10	西日本新聞
循環バス試験運行スタート 竹田の町巡りやすく	2017.3.2	大分合同新聞
まちめぐりバスを試験運行	2017.3.7	毎日新聞
竹田市街地バス試験運行	2017.3.9	読売新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町と各観光施設への回遊性向上のため、市街地循環バス「まちめぐり号」の試験運行を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	試験運行での運行データを参考にして、今後の城下町と観光施設の回遊性向上につなげる。

状況を示す写真や資料等

竹田は3月、市中部の観光客や市民向け「まちめぐり号」を試験運行する。市街地の商業施設や病院を結び、運転できない高齢者で役立ててもらおう。岡城跡を結ぶコースも新たに設け、観光客にも利用してもらおう。

市内には、民間の大野竹田バスの路線、市のコミュニティバス8路線、市のコミュニティバス2路線があるが、循環路線はなく、「まちめぐり号」という声も出た。また、ITRを使う観光客の場合、竹田駅から岡城跡への交通手段はタクシーしかなかった。

「まちめぐり号は」「おでかけコース」「岡城コース」

朝日新聞(2017.2.8)

竹田市の3月1日より岡城跡コースも新設

「まちめぐり号」を試験運行する。市街地の商業施設や病院を結び、運転できない高齢者で役立ててもらおう。岡城跡を結ぶコースも新たに設け、観光客にも利用してもらおう。

市内には、民間の大野竹田バスの路線、市のコミュニティバス8路線、市のコミュニティバス2路線があるが、循環路線はなく、「まちめぐり号」という声も出た。また、ITRを使う観光客の場合、竹田駅から岡城跡への交通手段はタクシーしかなかった。

「まちめぐり号は」「おでかけコース」「岡城コース」

西日本新聞(2017.2.10)

竹田市の岡城跡や市街地を巡る循環バス「まちめぐり号」が、1日、試験運行を開始した。市街地の商業施設や病院を結び、運転できない高齢者で役立ててもらおう。岡城跡を結ぶコースも新たに設け、観光客にも利用してもらおう。

「まちめぐり号は」「おでかけコース」「岡城コース」

大分合同新聞(2017.3.2)

竹田が市街地循環バス「まちめぐり号」を1日、試験運行を開始した。市街地の商業施設や病院を結び、運転できない高齢者で役立ててもらおう。岡城跡を結ぶコースも新たに設け、観光客にも利用してもらおう。

「まちめぐり号は」「おでかけコース」「岡城コース」

毎日新聞(2017.3.7)

31日まで

竹田市は、1日、竹田駅から岡城跡までの市街地循環バス「まちめぐり号」を試験運行を開始した。市街地の商業施設や病院を結び、運転できない高齢者で役立ててもらおう。岡城跡を結ぶコースも新たに設け、観光客にも利用してもらおう。

「まちめぐり号は」「おでかけコース」「岡城コース」

読売新聞(2017.3.9)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

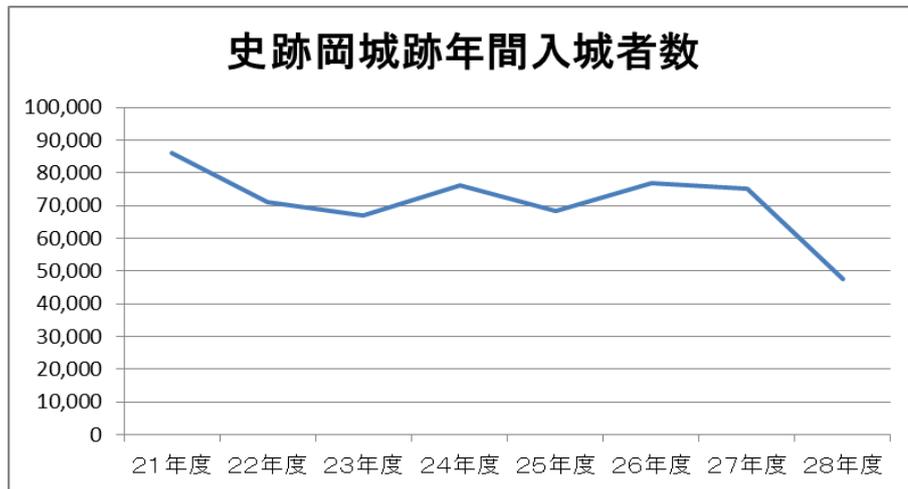
項目		評価対象年度	28年度
計画認定による観光客数の推移について			
計画に記載している内容	来訪者など多くの人々に歴史的町並みや歴史的道筋を回遊させることにより、歴史や文化を活かした観光振興に繋げていく。このため、積極的な情報発信や周辺景観に配慮した案内標識、歴史・文化遺産の説明板、駐車場等の整備を行い、『歩けるまち』、『歩きたくなるまち』の実践構築を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
竹田市のおすすめ観光施設でもある史跡岡城跡への来訪者数は、平成11年度の15万人をピークに、年々減少傾向にある平成24年度は城下町400年祭のイベントを開催し一時的に増加に転じたが、25年度には約1万人の減少となりイベントでの一時的な増加であった。計画が認定された平成26年度に再び増加に転じ、平成27年度は微減したものの7万人台の入場者数であった。しかし、平成28年度は、4月に発生した熊本・大分地震、その後続いた余震の影響により、年度前半は大幅な観光客数の減少となった。秋以降、観光客数の持ち直しが見られるが、年度全体から見ると前年度を大きく下回る客数となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	地震被災箇所の早期の復旧及び魅力ある観光政策の推進により、竹田市への来訪者数の増加を図る必要がある。また、ボランティアガイド・岡城楽しみ隊・岡城武者揃え実行委員会等へ助成及び学習会等の開催を実施し、来訪者への案内を充実させる活動を引き続き実施する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



地震により被災した岡城跡の石垣



地震により被災した岡藩主おたまや公園



※平成28年度は、2月末現在

評価対象年度 28年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 竹田市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 平成29年3月13日(月)

(コメントの概要)

(1) 竹田市歴史的風致維持向上計画の変更について

委員からの意見

- ・歴史的風致維持形成建造物候補物件の追加については、建築年代・建築様式等だけではなく、建造物が立地している歴史的環境にマッチしている建築様式(町家・武家屋敷等)であるかも選定基準として重要である。
- ・歴史的風致維持形成建造物候補物件になりうる建造物の把握(建造物の調査及びリストの作成)を行うべきである。

(2) 竹田市歴史的風致維持向上計画進捗評価について

委員からの意見

- ・個性豊かなまちづくりの取り組みをおこなうべき→花・音の景観等
- ・景観形成重点地区に住む住民への支援・指導を検討する必要がある。
- ・道路美装化でカラー舗装等にするだけでなく、マンホール等のデザインの統一化も行うべき。
- ・ポケットパーク整備について、城下町の町並みに合ったデザインの説明板やベンチの設置を行う。また、過去開渠であった水路が近年暗渠化されている、ポケットパークで水路を見せてはどうか？
- ・竹田市史跡等環境保存条例の廃止→竹田市景観条例の施行 今後の景観まちづくりに期待する。



竹田市歴史的風致維持向上協議会の様子

(今後の対応方針)

- ・重点区域内の建造物調査を実施する方向で検討を行う。
- ・計画進捗評価については、意見及び提案事項について検討し、今後の事業推進に活かしていく。